

一三三〇

第一課

官房第一三七八号御訓達ノ義府伺

一 今般試錐スヘキ取準位置ニ廿四年度ニ於テ  
 工費金壹萬参拾八円ヲ以テ築造致シ候三艘  
 分ノ水雷艇圍場有之竹付号ノツツ真ヶ所ハ此圍  
 場ヲ崩ササレハ試錐ヲ穿ツ能ハス右ニテハ不都合  
 ト存候ニ付建物等ニ障ル留所同様其供ニ省キ  
 置キ可然哉

一 試錐スヘキ箇所内リト是ノ場所ハ満潮面上ニ  
 拾尺余モ高キ砂石質ノ山ニ是ヲ干潮面以下  
 四拾尺迄試錐スルニハ総深殆ント八拾尺余リノ般石  
 石ヲ穿ツト相成候得共地般石上ニ岩石露

建物等ニ障  
 錐ヲ省リモ差

リ取ナル等  
 潮水面以下四  
 尺後ニ讓ルモ

建物等ニ障ル留所トハ箇所ノヲナラン果シテ然ラバソツカノカ所ハ試  
錘ヲ省リモ差支ナシ



リヤナルケテハ飯乞滿潮水位以上数尺余モ高キ砂石質ノ山ト云ハ凡名張千  
潮水面以下四尺天近試錘ヲ要スセモ此ケ所ハ他ノケ所ヨリ多日始テ要スバキニ付  
最後ニ讓ルモ妨ナシ



出エアル留所ハ試錐ヲ省キ可然哉

一 實測平面着ハ千五百分一縮尺ニ調製

可然哉

右相信候余電信御指令相仰矣也

明治廿五年六月三十日

佐世保鎮守府司令長官 林清

海軍大臣子爵樺山資紀殿



1207

留所ハ...

十分一ノ既成圖  
之ニ本邦留位ニ  
準ル

製

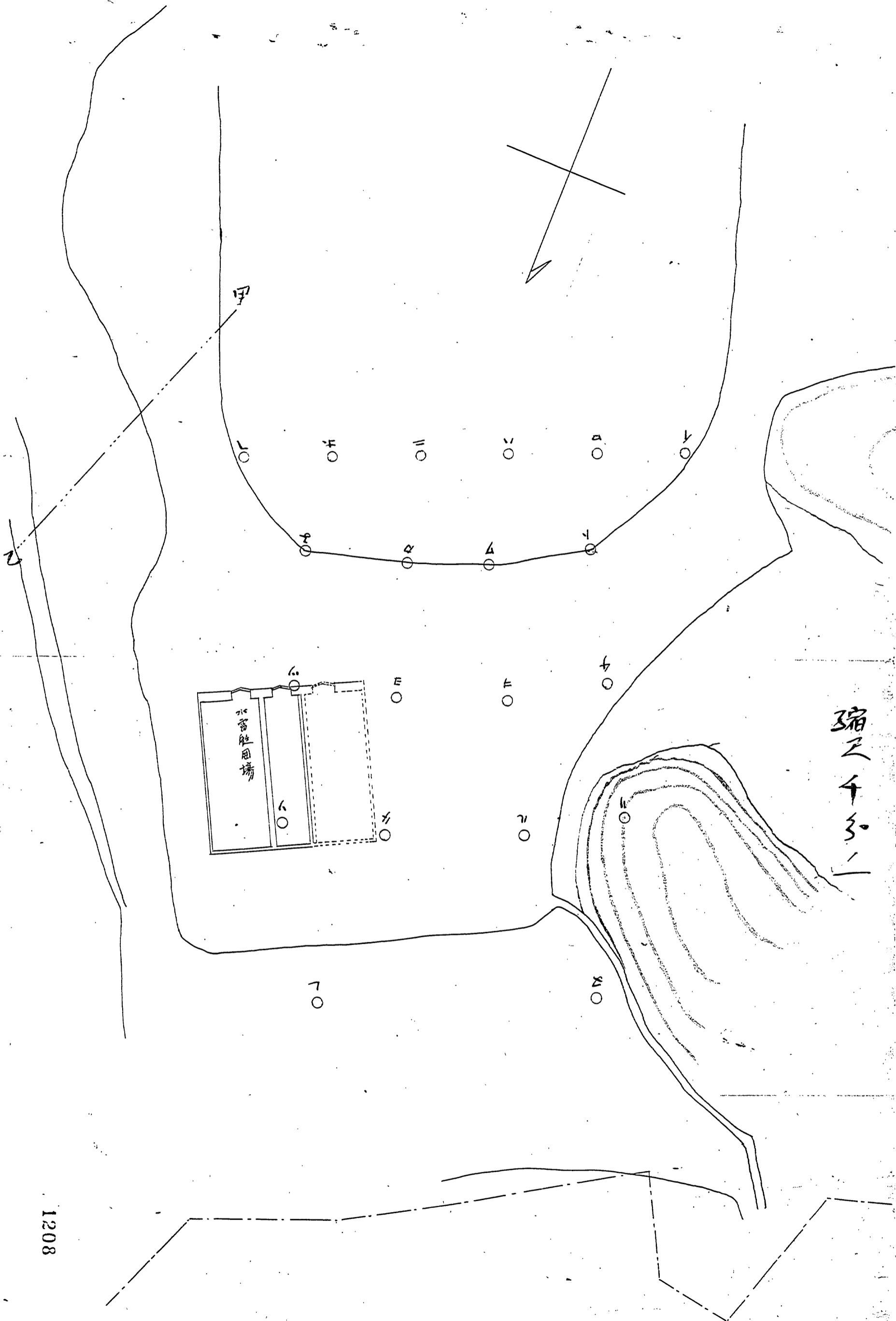
1207

留所トキ張箇新ノ器ナラン



十分一ノ既成固面ナケレバ千五百分ヨリ、  
之レ本邦官位ニ直スノ便アレバナリ、  
即チ<sup>備</sup>子<sup>大</sup>我<sup>百</sup>分<sup>一</sup>、  
高<sup>中</sup>ノ<sup>一</sup>分<sup>一</sup>、  
家<sup>長</sup>我<sup>我</sup>分<sup>三</sup>、  
申ル





縮尺 1/500

主事



浄寫

校合

發付

六月廿日



廿五年六月 日

主務

立案者

大臣 次官




第二局長 

第二課長



第三局長



第二課長 

第三課長



訓令案

其府元造船部設計地ヲ別紙ノ方法ニ依リ至  
急測量及試錐試験ヲ施行シ其成績ヲ報  
告スル

但入費ハ總テ船渠築造費ヲ以テ支弁シ測量者ニ

第三七八号

母

直

不足アリハ適宜備入ルヘシ

明治廿五年六月二十一日 海軍大臣

佐世保鎮守府司令長官宛

洋 軍

別紙扣

測量並ニ試錐試驗方法



第一 別紙圖面

(元鎮守府建築委員ニ於テ) 中甲乙及丙丁線ノ

區域内ニ於テ縦横各十間

~~陽~~

毎ニ

~~有~~

杭ヲ

打テ

軍

港既設ノ量水標ニ基キ其地盤ノ高低ヲ測リ別紙圖面ニ數

字ヲ以テ悉ク之ヲ記入シ且ツ六尺毎ニ地盤高低線ヲ青色

ヲ以テ記入スルコト但水雷隊建物等ニ障リ測量ヲ施ス能

ハサル箇所ハ其儘ニ為シ置クコト

第二 右高低測量結了ノ上ハ假ニ該區域内ノ地盤ヲ軍港最

大満潮水位以上一米突五百迄ニ開鑿スルモノトシ其土坪

ヲ計算シ其開鑿費用ヲ概算シ各一位代價表ヲ附シ總費用

ヲ報告スルコト

第三 元鎮守府建築委員ニ於テ選定シタル船渠敷地ニ當ル



個所別紙圖面中「イ」ヨリ「子」マテノ印ヲ付シタル各個所ニ地  
 質調査ノ為メ平均干潮水位ヨリ以下四十尺ニ達スル迄試  
 錐試験ヲ為シ其地層ノ断面圖ヲ縦五十分一ノ縮尺ニ調製  
 シ各地層ノ質ヲ記入スルコト

次官

決意

供覽

1213

至事



録付六三

第一局長



第二局長

第三局長

第四局長



電信案

造船部建築工事見合スベシ余依り而

通知

廿五年六月二日

第一局長

第二局長

佐世保兵衛司會長

官署一四四号

海

軍

決裁

参事部 奏 官房

主事



淨寫



發付



校合



三月廿



年月日

主務

立案者

大臣

次官



第三部長



第三課長



第二部長



第二課長



案

觀展

其府船渠設計上参照ノ為ノ別紙圖  
面ニ示シタル六ヶ所ノ地質調査ヲ要シ反条  
干潮面以下四拾尺迄至急試鑿ヲ遂テ精  
細報告スヘシ

官房第七五十六号

母

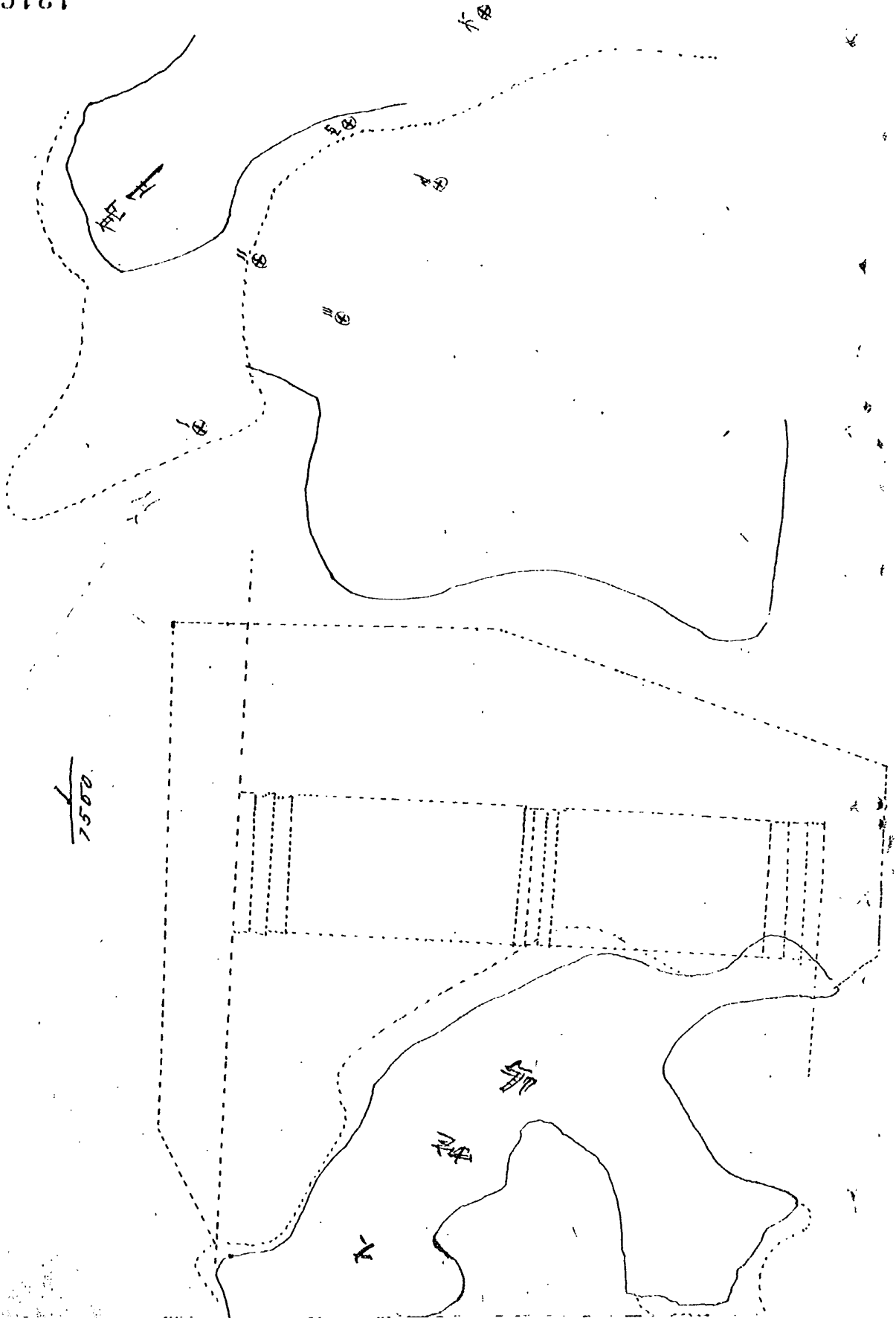
五

明治廿五年三月廿九日 大臣

佐世保結守府是也印了

注  
宣

1216



供



第三局長

第二局長

佐第七七三號

第三課長



次官

主事



地質調査課 美上申

官房 第七五六號 地質調査課

之調査課 爲致美上申 地質調査課

ハニ有之ニ美上申 地質調査課

明治三十五年四月廿一日

佐世保鐵道局長官林清康

海軍大臣子爵嶋山貞吉殿



別紙添付書類ハ送付被仰ニ渡ス

四月廿一日

參謀部長

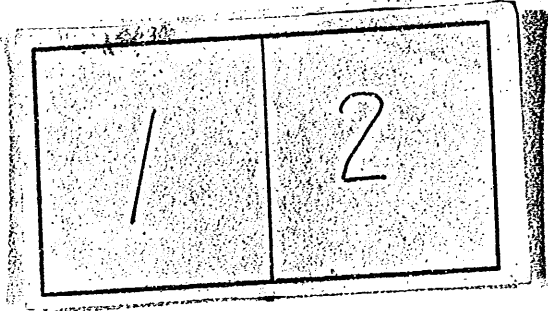


第二課

海

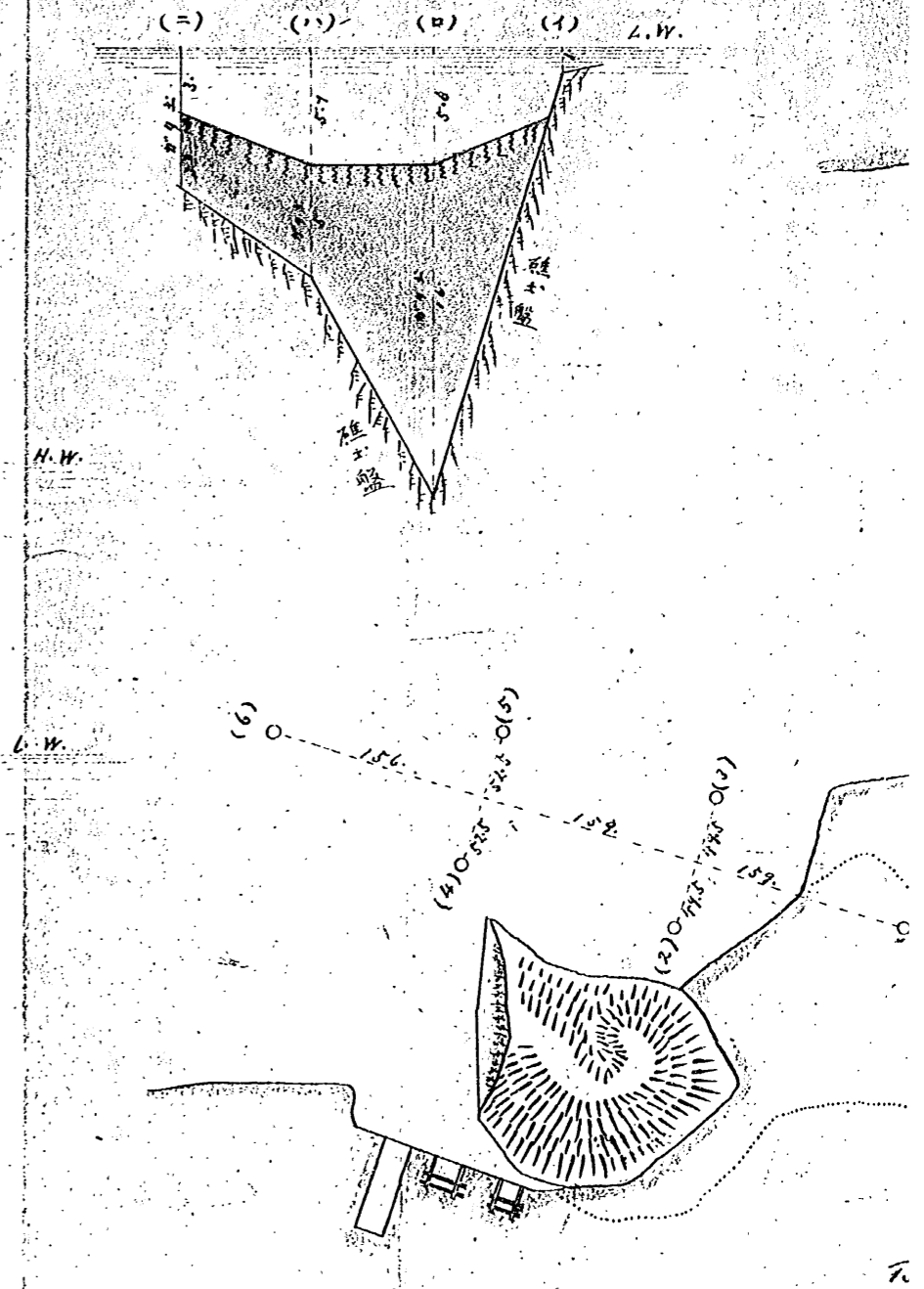
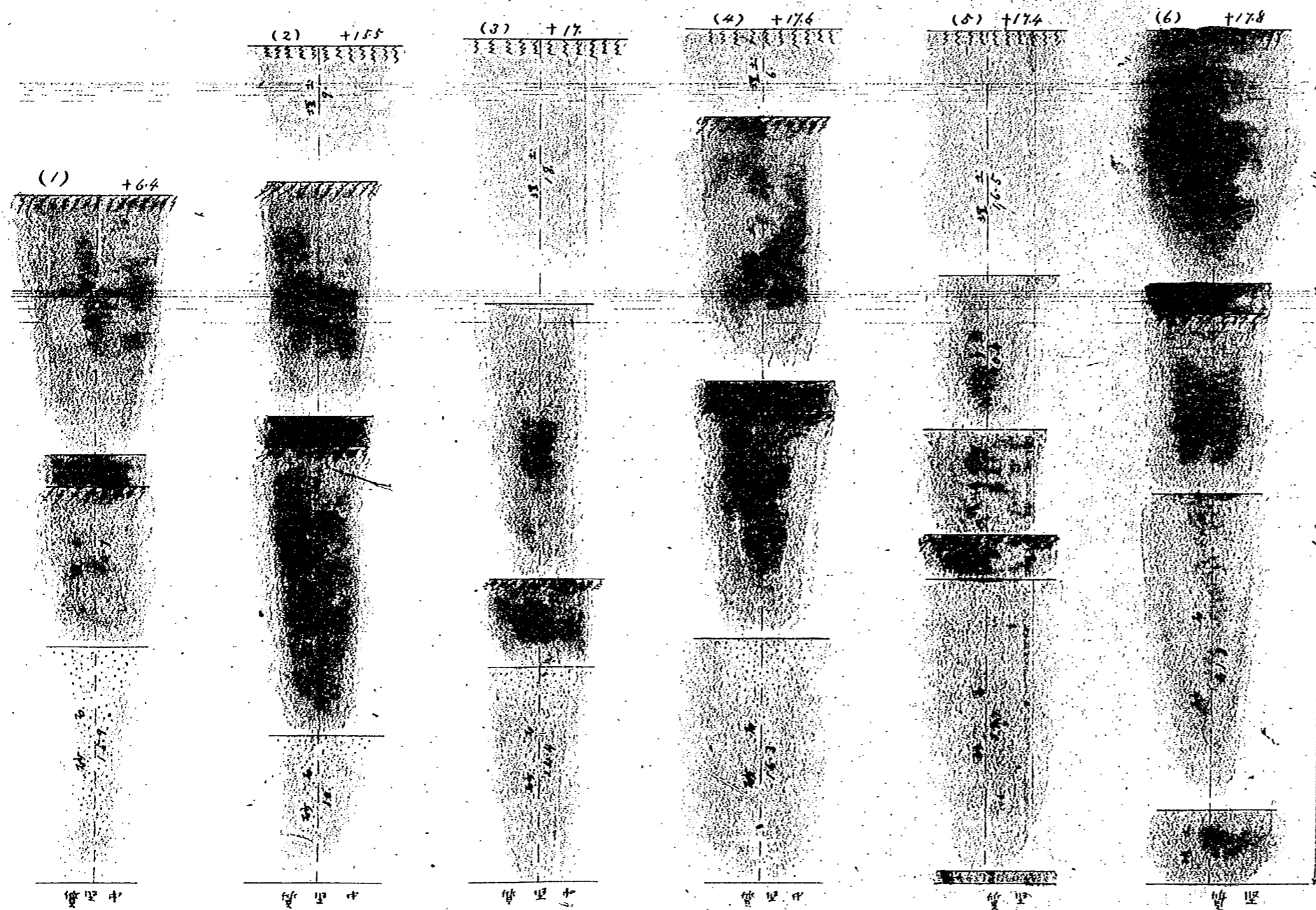
軍

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

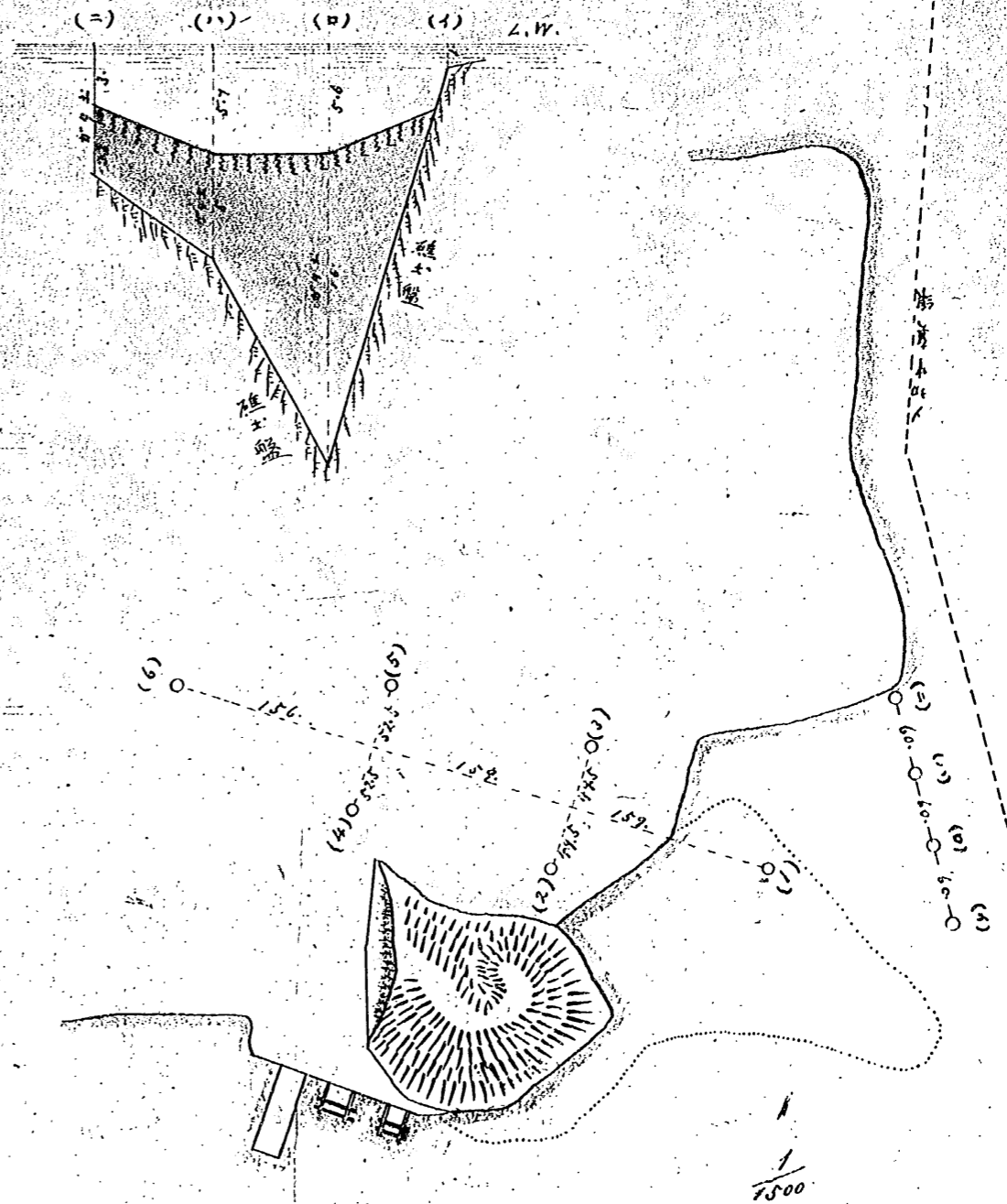
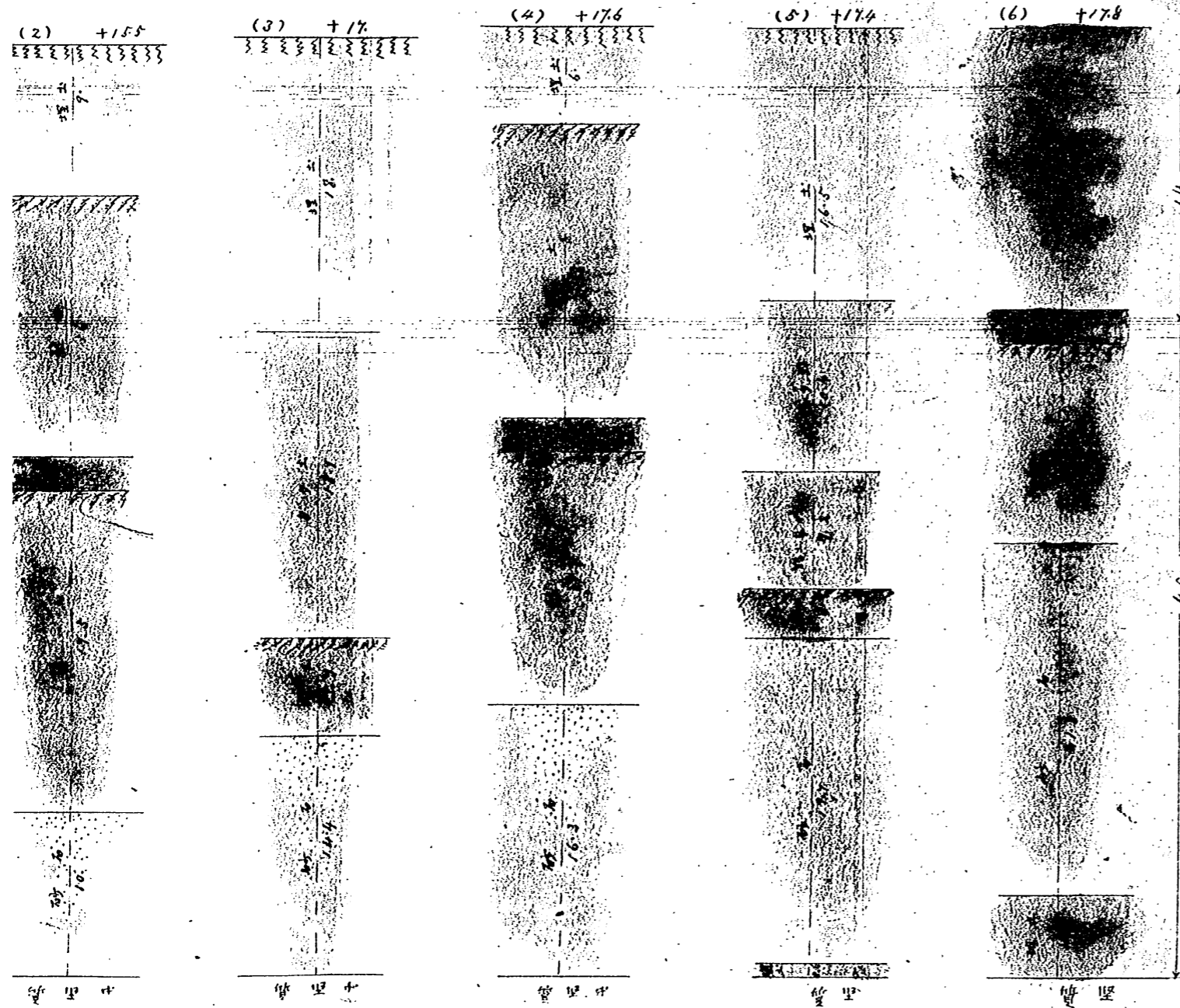
1218  
1219

船渠地質調査位置及断面圖





船渠地質調査位置及断面圖



皇ノ御

第三局

参謀部長

第三局長

第二課長

大臣

次官

主事

第二課

供覧

1220

宮内省 三二〇

南佐世保海守府造船部所屬ノ船渠築  
 設ニ係ル周圍締切工事一尋定知調査スルベキ  
 ノ命ヲ奉シ過ル来處ハニハ決調査ヲ遊ニ交  
 接ニ事一、計画タルヤ船渠ノ位置ヲ是正、  
 標定ノヶ所ニ楕圓ヲト名トニ定セズ現行ノ  
 計画ニテハ到底竣工ノ見込無シト因定為  
 身船渠築設ノ全停、計画ハ暫ク固キ現行  
 切工事一、計画ハ変更ヲ要スルヲ認メ、寫  
 此以テ右取復命付、尙善後ノ策ニ案ニ  
 由計畫ノ多ハ命ヲ待テ復命ノ任心均ニ也

佐世保海守府書件

昭和五年二月一日 土市監査官若林沙石五十一  
 一

海軍大臣子爵樺山資紀殿